

研究実施のお知らせ

2021年7月26日 ver.6.0

研究課題名

生活習慣病・非生活習慣病の大学生の健康リスクの比較

研究の対象となる方

島根大学松江キャンパスに在籍する大学で2020年1月～2021年12月の間の学生健康診断で生活習慣病と診断された学生、もしくは生活習慣病ではないと診断された学生です。

研究の目的・意義

肥満や高血圧などの生活習慣病を持った患者さんの数は年々増え、島根大学の学生さんの中でも定期健康診断で生活習慣病と診断された方がいます。生活習慣病は動脈硬化を引き起こし将来の心臓や血管の病気をきたす可能性が高いといわれています。しかし、日本全体では若い生活習慣病の方の特性については、まだあまり知られていません。

本研究では、学生健康診断の結果で生活習慣病と診断された学生さんと、生活習慣病ではない学生さんのどちらにも研究に参加していただき、動脈硬化指標と心理検査、ヘルスリテラシー調査を施行します。生活習慣病の有無の2群間でこれらの検査結果を比較することで、大学生の生活習慣者全体の性格傾向や動脈硬化指標の傾向を明らかにすることができ、さらに生活習慣病者に対するよりよい指導法や治療法につなげていきます。

研究の方法

本研究に同意を頂いた後に、定期健康診断結果から、身体所見（体重、血圧、BMI）、背景（既往歴、生活習慣、家族歴）等を調査します。さらに追加して以下の動脈硬化の検査と心理検査、ヘルスリテラシー調査を施行します。

- ① 動脈硬化の検査：血管の硬さをみる脈波伝播速度(PWV)、血圧脈波測定(CAVI)、上腕足首血圧比(ABI)、体の中心の圧力をみる中心血圧の測定を行います。さらに血管の厚さを測定する頸動脈エコーを行います。
すべての検査は痛みを感じることはありません。検査前の安静の時間を含めて検査終了まで約20分程度を要します。

また、希望者には 24 時間の血圧の変化を記録することのできる 24 時間血圧計の検査や睡眠や活動の様子がわかる睡眠活動計の検査を行います。

- ② 心理検査の調査：性格を5つの特性（外向性、共感性、開放性、勤勉性、協調性）の強弱で判断するTIPI-Jを使用します。検査は10の質問に答える方法で約2分で終了します。
- ③ ヘルスリテラシーの調査：健康情報を理解し活用する為の理解度を調査します。調査は調査表（J-HLS-EU-Q47）を用いて 47 の質問に答える方法で約 10 分で終了します。

研究の検査で異常所見を認めた場合の対応

本研究で行う動脈硬化検査で異常所見を認めた場合は医師（研究責任者）が診察を行い、必要時は医療機関への紹介を行います。

研究の期間

2020 年 2 月～2024 年 3 月

研究組織

この研究は島根大学保健管理センター松江が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：
島根大学保健管理センター松江 医師 杉原志伸

研究への同意

本研究への参加/不参加が成績評価等に与える影響は全くありません。また、一旦研究の参加に同意した後でも、研究への参加を取りやめることができます。その場合も、あなたが成績評価等に関して不利益を被ることはありません。

情報の利用停止

ご自身の検査情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人、保護者、代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2021 年 12 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

利用停止の申し出があった場合でも成績評価等に関して不利益を被ることはありません。

ません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：杉原志伸

島根大学保健管理センター松江

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

TEL:0852-32-6568

E-mail@:shinobutozuito@soc.shimane-u.ac.jp